

事業の概況

■企業のIT投資需要は底堅く推移

当連結会計年度におけるわが国経済は、円安等による物価高が続く中、一部に弱さもみられましたが、雇用・所得環境の改善による個人消費の持ち直しや堅調な企業業績を背景に設備投資は底堅さを維持するなど、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような経済状況にあってIT投資分野では、企業のソフトウェア投資計画は引き続き高い水準にあり、生産性向上、競争力強化やコスト削減を目的とした省人化やデジタル化に向けたIT投資需要は底堅く推移しました。

■お客様のDX推進を支援

以上のような環境において当社グループは、「お客様に寄り添い、DXとAIでお客様と共に成長する」を2025年度のスローガンに掲げ、お客様接点の強化に努めました。営業活動においては、営業プロセスをAIがサポートすることで営業生産性の向上とオフィスまるごとに向けたお客様対応力の向上に注力しました。その上で、当社自身がAIの活用を含めたDX推進により業務プロセス改革や生産性向上を実現してきた事例も踏まえて、ワークフローの見直しやセキュリティ対策など、業務のデジタル化や効率化に向けた提案を行いました。また、中堅・中小企業のお客様でも手軽にAIの価値を享受できる最新のAIソリューションによるオフィスまるごとにつながる提案など、お客様のDX推進への取り組みを支援いたしました。

堅調な企業業績
設備投資は底堅さを維持

営業生産性の向上
お客様対応力の向上

■売上高及び各利益は過去最高を更新

以上の結果、当連結会計年度の売上高は、堅調な企業のIT投資需要を捉え、1兆3,227億91百万円(前年同期比19.4%増)となりました。利益につきましては、販売費及び一般管理費は増加したものの、増収に伴う売上総利益額の増加により、営業利益899億43百万円(前年同期比21.0%増)、経常利益915億25百万円(前年同期比20.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益643億3百万円(前年同期比20.2%増)と増収増益となり、売上高及び各利益は3年連続で過去最高となりました。

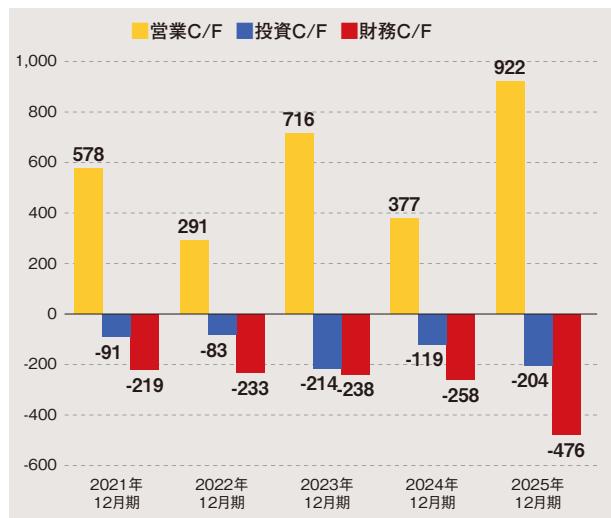
(連結) (単位：百万円)

	2024年12月期	2025年12月期	
	金額	金額	増減率
売上高	1,107,668	1,322,791	+19.4%
営業利益	74,360	89,943	+21.0%
経常利益	75,931	91,525	+20.5%
純利益*	53,481	64,303	+20.2%

※親会社株主に帰属する当期純利益

■キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)



営業活動から得られた資金は「売上債権の増加額」が小さくなったこと及び「棚卸資産の増減額」が減少に転じたことなどにより、前年同期に比べ545億7百万円増加し、922億18百万円となりました。

投資活動に使用した資金は「ソフトウェアの取得による支出」が増加したことなどにより、前年同期に比べ85億26百万円増加し、204億75百万円となりました。

財務活動に使用した資金は「配当金の支払額」が増加したことなどにより、前年同期に比べ217億22百万円増加し、476億13百万円となりました。

四半期別の概況

■売上高の推移

売上高は、全ての四半期で増収となりました。

第1四半期(1~3月)3,155億41百万円(前年同期比18.3%増)、第2四半期(4~6月)3,795億90百万円(前年同期比25.3%増)、第3四半期(7~9月)3,105億86百万円(前年同期比23.0%増)、第4四半期(10~12月)3,170億71百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

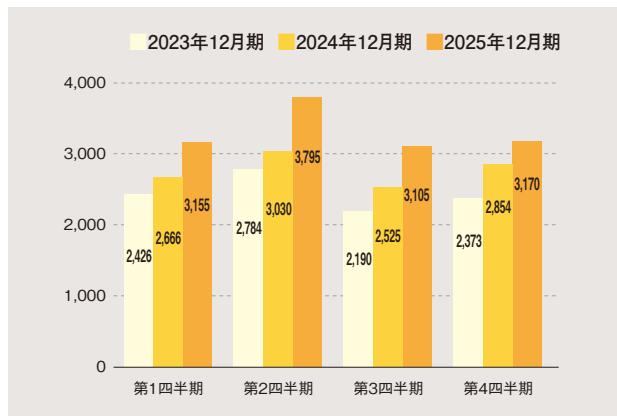
■経常利益の推移

経常利益も、全ての四半期で増益となりました。

第1四半期(1~3月)218億52百万円(前年同期比23.9%増)、第2四半期(4~6月)282億47百万円(前年同期比27.2%増)、第3四半期(7~9月)179億71百万円(前年同期比26.9%増)、第4四半期(10~12月)234億53百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

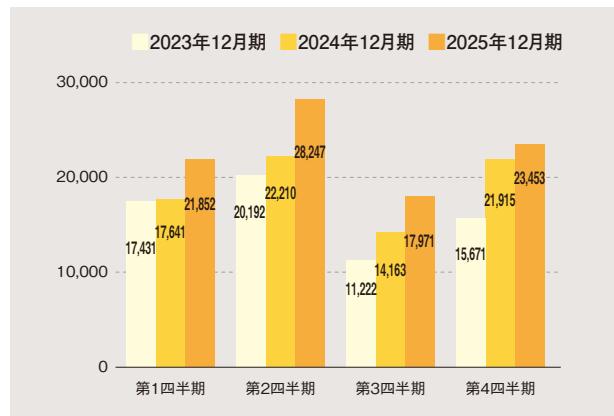
売上高の四半期推移

(単位:億円)



経常利益の四半期推移

(単位:百万円)



事業セグメント別の概況

■ システムインテグレーション事業

コンサルティングからシステム設計・開発、搬入設置工事、ネットワーク構築まで最適なシステムを提供するシステムインテグレーション事業では、パソコンが更新需要を捉え高い伸びとなりました。またパッケージソフトも高伸長とし、売上高は9,029億15百万円（前年同期比24.1%増）となりました。

■ サービス&サポート事業

サプライ供給、ハード&ソフト保守、テレフォンサポート、アウトソーシングサービス等により導入システムや企業活動をトータルにサポートするサービス&サポート事業では、オフィスサプライ通信販売事業「たのめーる」やサポート事業「たよれーる」などストックビジネスに引き続き注力し、売上高は4,198億75百万円（前年同期比10.5%増）となりました。

なお、2025年12月期の期首より、連結子会社の業績管理区分の一部を見直し、事業セグメントの区分方法を変更しました。これに伴いセグメント別業績の金額及び前年同期比は、2024年12月期の数値を遡及し算出しております。この区分方法変更による影響は軽微であります。

事業セグメント別の売上高推移

（単位：百万円）

